



水道の広域化、民営化 ～持続可能な水道を考える

交野市では、災害に強く、省エネルギーにつながる自己水の比率を80%まで高めるために、浄水場を建替えました。

一方、用水供給事業を主業務としている大阪広域水道企業団には、千早赤阪村、太子町、四條畷市の水道が統合され、さらに7つの自治体の水道が統合を決めています。しかし、6月に発生した大阪北部地震では、大阪広域水道企業団から高槻市への送水が一時停止し、市域全体への影響が懸念される事態が生まれました。

また、水道の基盤強化策として、広域化推進などの内容を含む、水道法改正法案が国会で継続審議となっています。

住民の大切なライフラインである水道は、市民に身近な自己水源があって、安全、安心が守られるのではないのでしょうか。水道は、自治体の財政と住民が支払う水道料金により、発展してきた歴史のある地域住民の財産です。そして、日本の水道事業の技術力は、市町村の直営を基本にしてきたからこそ、世界最高水準にあります

一日たりとも欠かせない命の水を供給する水道のあり方について、地域住民自らが真剣に考えるべき時がきています。

本シンポジウムでは、各分野からご報告、問題提起をいただくとともに、持続可能な水道のあり方について、皆様とご一緒に考える場とします。

- 開催日時** 2018年10月27日(土) 13:30~16:15 (受付開始 13:00)
- 会場** 交野市立 青年の家 学びの館 交野市私部 2-29-1 京阪交野線 交野市駅下車徒歩10分 駐車場有
- 基調講演** 集中型システムから分散型システムへの転換—レジリエントな水道をめざして—
仁連 孝昭 先生 (成安造形大学客員教授・滋賀県立大学名誉教授)
- 基調報告** 水道をめぐる広域化、民営化の状況 近畿水問題合同研究会 植本事務局長
その他、地元からの報告があります。
- 夕食交流会** シンポジウム終了後、会費制にて開催します。こちらにもご参加ください。



共催 近畿水問題合同研究会/大阪自治労連公営企業評議会

(お問合せ先) 大阪市北区天神橋 1-13-15 グリーン会館 4階 大阪自治労連 公営企業評議会

TEL 06-6354-7201 FAX 06-6354-7206 e-mail:s_suirou@yahoo.co.jp